

# あやふやなまま出して、 気になるときがあります。

「ごみを分けて出すときに、「このごみどれに出すんだっけ?」と迷ったことはありませんか。新しく秋田市民になられたみなさんは、特にそういうことが多いのではないのでしょうか。宮城県名取市から一月に引越してこられた三浦育子さん(八橋)と一緒に、迷わず、しかも上手にごみを分けられるコツを探して、市環境業務課の北村ごみ先生を訪ねてみました。



「もやせるごみ」は半透明、「もやせないごみ」は透明の指定ごみ袋ですね。透明の「もやせないごみ」の袋は「もやせるごみ」にも使えます

## 「どのごみに出すか迷ったとき、簡単に分けられるコツはありませんか?」

ごみ先生 ごみの分け方は、大きさや材質を目安にするといいでしょ。一辺五十センチを基準に、それを超える大きさのものは「粗大ごみ」、それ以内だと「もやせるごみ」か「もやせないごみ」と覚えてください。電化製品でも、ドライヤーや電気炊飯器などは「もやせないごみ」に出せます。

大きさは次は材質です。「もやせるごみ」は紙くずや木、生ごみなど、「もやせないごみ」はプラスチックや発泡スチロール、ガラス製品、陶器などと考えてください。

ただし、食品関係の容器は、プラスチック類であつても、「もやせるごみ」に出してもらつて結構です。

三浦さん 食品トレイや納豆の容器、レトルトパックは「もやせるごみ」でいいんですか。  
ごみ先生 そうです。月二回の「もやせないごみ」の収集日家で家庭に置いておくのは、においや衛生面から大変なので、「もやせるごみ」に出してもいいことにしています。

三浦さん リサイクルする資源

ごみもあるんですね。  
ごみ先生 古紙類や空きびん、空き缶は、月二回の資源化物回収日に出してください。古紙類には、新聞紙やダンボール、雑誌のほか、包装紙や紙製の箱なども含まれます。

「ごみの分別ごとに出せる品物の一覧を書いた「暮らしの伝言板」を、四月に各家庭にお配り

しました。それと照らし合わせて分けてみてはいかがでしょうか。

## 「もやせるごみ」「もやせないごみ」は出したあとどうなるんですか?」

ごみ先生 市内のごみが運び込まれる御所野事業所に行つてみましょう。

御所野事業所にて...

ごみ先生 集められた「もやせるごみ」はここで焼却し、「もやせないごみ」はそのまま埋め立てます。「粗大ごみ」は細かく砕いた後、燃える物は焼却、燃えない物は埋め立て、鉄類は再資源化しています。

三浦さん 収集車が運んできたごみ、すごい量ですね。(写真右下)  
ごみ先生 ここは、焼却炉で燃やすため一時的に「もやせるごみ」をためておく場所です。

三浦さん えっ、そんなに埋ま



御所野事業所には「もやせるごみ」の山がありました



ここは、ごみの埋立地。この下は全部ごみ!

市内から出る「もやせるごみ」の一週間分、約一千トンをためておくことができます。  
三浦さん さすがに市全体のごみが集まるとすごいですね。量もにおいも強烈です。迫力さえ感じます。

ごみ先生 次は埋立地にどうぞ。「もやせないごみ」や焼却炉から出る燃え残りはここに運ばれ埋め立てられます。(写真下)  
三浦さんが立っている下は、二十メートルぐらいごみが埋まっているんですよ。  
三浦さん えっ、そんなに埋ま

っているんですか。  
ごみ先生 一年もすると景色が変わってしまうほど、たくさんのごみが埋められます。  
三浦さん ごみって、出してから処理もいろいろ大変なんですね。この埋立地もいつか一杯になってしまうんでしょうね。